

夜久野みらいまちづくり協議会《福祉・あんしん部会》

ふくしあん新聞 第6号

令和2年10月発行



住み慣れた夜久野で暮らしていくために



移動スーパー 『とくし丸』

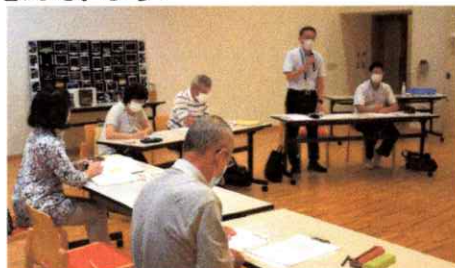
「買い物」が便利に！

前回のふくしあん新聞第5号(9月発行)で、お知らせしましたとおり、いよいよ11月から、三ツ丸ストアの移動スーパー『とくし丸』の営業が始まります。

平成18年(2006年)、旧福知山市と旧三町が合併してから間もなく15年になります。この間、夜久野町では、人口は4,760人から3,180人に減少し、高齢化率は36.7%から51.3%へと上昇しています。

このように、年々進行していく人口減少、少子高齢化は、核家族化、ひとり暮らしを含む高齢者世帯や空き家の増加など、「各家庭の暮らしぶり」や「地域社会の状況」を大きく変化させてきました。以前は、私たちの身近な地域にお店があり、毎日の生活に必要な食料品や日用品などを買うことができましたが、次第にそのお店が少なくなり、「買い物」に困っておられる(店まで行くことが大変、通信販売の注文が大変など)方も増えています。

部会では住み慣れた夜久野町でこれからも安心して暮らしていけるように、身近で「買い物」ができることを願っています。



【右写真】福祉あんしん部会9/15
(三ツ丸ストア担当者と意見交流)

■ 便利な『とくし丸』が地域を回ります！

『とくし丸』の 販売(地域・巡回コース・曜日)

◎地域ごとに、毎週2回ずつ訪問販売を予定されています。

A コース 月・木曜日

下夜久野(千原)

中夜久野(末、小倉)方面

上夜久野(平野、板生)方面

B コース 火・金曜日

中夜久野(大油子、高内、日置)方面

上夜久野(直見)

C コース 水・土曜日

下夜久野 方面

移動販売『とくし丸』

「とくし丸(篤志丸)」の名前は、

篤志(とくし)=志の厚いこと。
社会貢献事業や、公共の福祉に熱心なこと。

お年寄りにもわかりやすく、
親しみやすく…そんな願いが
込められています。



■ 販売員さん紹介 “よろしくお願ひしま〜す！”



「とくし丸」販売パートナー

川村 和 央 さん (41歳)

みなさまのお力になれるようにがんばります！

お問い合わせ先

三ツ丸ストア 移動販売部

TEL 23-4123

★活動報告「何でも防ぎ隊」

AED設置で救命率アップへ!

*AED(自動体外式除細動器)とは、心肺停止状態の際に命を救うための医療機器です。突然正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すために心肺蘇生と除細動電気ショック(AED)を実施することが重要です。心臓が血液を送らなくなると、1分経過するごとに、生存率は7~10%低下。1分でも早いAEDの使用が、生存率を高め、後遺症のリスク低下につながります。

ふくしあん新聞(第5号裏面)で、「AEDマップ」を掲載したところ、ご意見や新たな情報もいただいています。部会では、さらなるAED設置状況調査や、AEDの普及と活用で安心なまちを目指し、検討(情報収集、提案)をしていきますので、情報やアイデアをお待ちしております。

検討中の課題)未設置地区や設置場所まで遠い地区(板生・畑地区等)がある。

案1、「AED付の飲料水自販機」はどうか?

販売会社や市・危機管理室に問合せした結果、AEDは医療機器であり管理責任者不在の個所への設置は困難であり、現在は検討中との事。また使用経費は販売売上で充当するため相当の利用が必要。

・自販機が災害時の飲料水の確保に有効

案2、消防車両の更改時に「AED積載」車両配備要望を自治会等から市に上げて区内の設置個所を増やしては?

案3、AED設置場所から離れた地域の自治会が、警備会社等がレンタル(月5~6千円)しているAEDを近隣自治会合同で契約し、経費を分担し、利便の良い公民館等に設置しては? など

お気づきですか?安全啓発看板!

町内に45体「飛び出防止郎」看板 ・「チョットまって」看板

点検・補修作業を実施しました。

まだ在庫が3体ありますので、希望の自治会は、まち協までご連絡ください。



☆☆☆地域情報☆☆☆

~社会福祉協議会夜久野支所より~

“ふれあいいきいきサロン”活動紹介!!

10月2日(金)下町公民館において、下町元気会さんにお招きいただき、出前講座「介護予防講座」を開催させていただきました。

筋力の低下による転倒を防止する簡単な体操や脳トレなどを行い、予防の大切さを再認識していただきました。

サロンはコロナにより春から休止されていたので、久々の再開で、みなさんからは笑顔があふれ、その笑顔にこちらまで笑顔にさせていただきました。



【写真左: マスク・換気・手指消毒など気配りも万全一下町元気会、写真右: 畑】

「新しい生活様式」感染対策・工夫をこらした内容で、笑顔があふれるまちに!

“ふれあいいきいきサロン”は、地域で支え合う関係づくりや顔の見える関係づくりの構築、安心して暮らすことのできる地域づくりを目的に、地域のボランティアさんを中心に進められている活動です。現在、社会福祉協議会では、そのサロン運営に、研修会の案内や出前講座、活動費の助成で支援されていますが、参加者(利用者)の高齢化やボランティアの減少等によりサロンの休止・解散となる地域も増えてきているなか、コロナ禍においては、さらにその活動も中止せざるを得ない状況となりました。そのことで運動能力の低下や認知症・介護度の進行につながる状況が見られることを新聞などで報じられており、今こそサロンなどの集いの場が見直されています。

